



年が明けた1月6日、島根県東部を震源とする大きな地震が複数回発生しました。2年前の元日には、能登半島地震が発生しました。今、日本中いつ、どこで大きな地震が起きてもおかしくない状況にあります。もしものとき、どう行動すればよいか、そのときのために何を準備しておけばよいか、日頃からシミュレーションしておくことが大切です。

『個別避難計画』をご存じですか？

令和3年5月に災害対策基本法が改正され、市町村に要配慮者の中でも特に自ら避難することが困難な避難行動要支援者に対する避難行動支援の充実が求められ、避難行動要支援者に対する個別避難計画の作成が市町村の努力義務となりました。(宮崎市 HP より)

個別避難計画とは？

災害が発生した際、高齢者や障がい者など、自ら(家族で)避難することが困難な方がスムーズに避難できるよう、一人ひとりの状況に合わせて事前に立てておく避難計画のことです。災害から命を守るためには、どのように避難するかを事前に計画しておくことが効果的です。

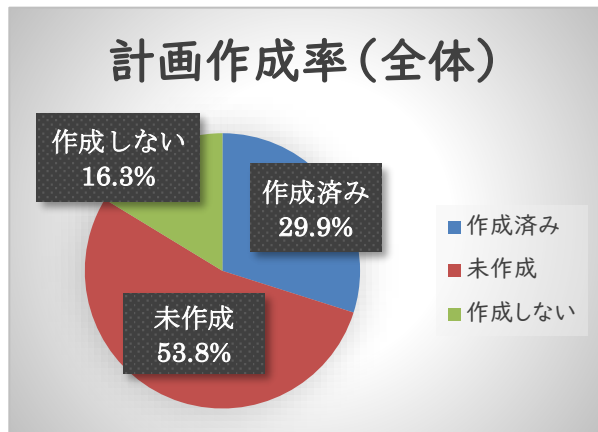
個別避難計画記載内容(例)

- ①氏名 ②性別 ③年齢 ④住所 ⑤電話番号 ⑥家族構成 ⑦疾患名 ⑧服用薬
- ⑨心身の状況 ⑩利用している福祉サービス事業者名 ⑪かかりつけ医 ⑫避難経路 ⑬避難方法
- ⑭避難先

個別避難計画の作成状況 (R7.3 末時点) 宮崎市 HP より



○ 避難行動要支援者=8,038人



計画作成の進め方には3つのパターンがあります。

- ア 本人・家族が計画を作成する
- イ 地域と(自治会や自主防災組織、民生委員等)連携して計画を作成する
- ウ 福祉専門職と連携して計画を作成する

避難行動要支援者のほとんどが、個別避難計画を未作成というのが現状です。

本校の取組み



6施設総合防災訓練(5月)

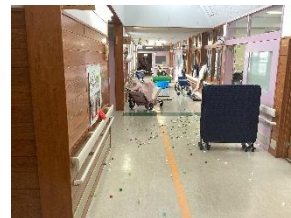


本校では、毎年こども療育センター、みなみのかぜ支援学校、ひまわり学園、宮崎リハビリテーションセンター、宮崎保健福祉専門学校の近隣6施設で合同の防災訓練を実施しています。今年度は、初めて本校山側からの山火事を想定した訓練を行いました。

実際に校区外に出て避難を行い、がたがた道での移動の大変さ、暑さ対策の必要性等、訓練を通しての気づきも多くありました。

地震避難訓練(11月)

医療的ケア生のこども療育センターへの避難までを想定した地震避難訓練を行いました。廊下や通路には、いろいろなものが散乱し、通れない状況であったり自分の教室にはいない状況からの避難。臨機応変な対応での安全な避難について考えました。また、今回の訓練では「Teams」というアプリを使って離れた場所での職員間の情報共有を行いました。



火災避難訓練(1月)



家庭科室から火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。校内のいたるところで工事をしているため、足場があり通行不可となっている場所があったり、授業のため自分たちの教室ではないところからの避難だったり、火元からいかに安全に遠くへ逃げることができかを考えました。また、消防の方から、消防車に積んでいるホースや工具などについて実際に見せていただき、詳しく説明を聞くことができました。

個別避難計画保護者説明会(1月)

1月23日(金)に個別避難計画保護者説明会を行いました。宮崎市役所福祉総務課 福祉防災係から2名、健康支援課療養支援係から1名来ていただき、宮崎市の取組みや、人工呼吸器を装着されている方向けの個別避難計画作成時のポイントなどについてお話をいただきました。参加された保護者の皆様から、疑問に思っていることや日頃不安に感じていることなどの質問があり、活発な意見交換が行われ、有意義な時間となりました。次回は、3月に開催予定です。

